



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 株式会社JMS
 コード番号 7702 URL <https://www.jms.cc/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桂 龍司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 落合 芳紀
 配当支払開始予定日 — TEL 082-243-5844
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	48,975	△7.0	189	△76.9	275	△56.5	△104	—
2025年3月期第3四半期	52,635	9.6	819	958.7	632	139.6	209	287.1

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 1,305百万円 (22.7%) 2025年3月期第3四半期 1,064百万円 (△37.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△4.26	—
	8.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	86,491	41,828	48.3
	81,432	40,927	50.1

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 41,781百万円 2025年3月期 40,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2026年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	△32.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	24,733,466 株	2025年3月期	24,733,466 株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	202,742 株	2025年3月期	229,777 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	24,518,193 株	2025年3月期3Q	24,493,800 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、「かけがえのない命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することすべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めています。

事業活動としましては、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域の4つの領域を中心に事業を開拓し、製品の開発、生産、販売を進めています。

当第3四半期連結累計期間は、日本国内においては、医療用手袋や排尿排液関連用品の販売が減少したものの、注力事業として取り組みを進める薬剤調製・投与クローズドシステムや、需要が拡大している摂食嚥下関連用品の販売が継続して伸長しました。海外においては、AVF針（血液透析用針）の販売が堅調に推移した一方で、血液バッグおよび北米向け成分献血用回路の販売が減少しました。

以上の結果、売上高は、前年同四半期に比べ36億60百万円減少の489億75百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

利益につきましては、AVF針、薬剤調製・投与クローズドシステム、摂食嚥下関連用品等の増収効果に加え、運送費等の減少はあるものの、血液バッグや成分献血用回路の減収影響により、営業利益は1億89百万円（前年同四半期比76.9%減）となりました。また、持分法による投資利益を計上した結果、経常利益は2億75百万円（前年同四半期比56.5%減）となり、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億4百万円（前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は2億9百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(日本)

薬剤調製・投与クローズドシステム及び摂食嚥下関連用品の販売が堅調に推移したものの、急性血液浄化装置及び中国向け血液透析装置の販売が減少したことにより、売上高は339億73百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。また、セグメント利益については、減収影響に加え、労務費や修繕費などの増加により、5億99百万円（前年同四半期比47.9%減）となりました。

(シンガポール)

北米向け成分献血用回路やアフリカ及びアジア向け血液バッグの販売が減少したことにより、売上高は170億61百万円（前年同四半期比13.7%減）となりました。また、セグメント損益については、主力製品の減収影響を受けたものの、為替差損の減少により、1億16百万円の損失（前年同四半期は2億55百万円の損失）となりました。

(中国)

中国国内のAVF針及び血液浄化回路の販売が減少したことにより、売上高は30億60百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。また、セグメント利益については、原価低減及び経費節減の効果により、1億27百万円（前年同四半期は7百万円の損失）となりました。

(フィリピン)

アジア向け血液バッグや成分献血用回路の販売が減少したため、売上高は25億36百万円（前年同四半期比11.1%減）となりました。また、セグメント損益については、血液バッグの販売減少に伴う稼働率の低下のほか、労務費の増加により、5億37百万円の損失（前年同四半期は2億77百万円の損失）となりました。

(ドイツ)

欧州において、AVF針の販売が好調に推移したものの、透析用チエアの販売が減少したことにより、売上高は29億77百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。また、セグメント利益については、減収影響を受けたものの、管理費等の節減効果により、3億45百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

(その他)

韓国国内の輸液セットの販売が減少したものの、北米向けA V F針及び翼状針の販売が増加したことなどにより、売上高は43億31百万円（前年同四半期比16.7%増）となり、セグメント損益については1億92百万円の損失（前年同四半期は2億72百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ50億59百万円増加の864億91百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ49億99百万円増加の507億72百万円となりました。この主な要因は、借入により現金及び預金が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ59百万円増加の357億18百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が減少した一方で、投資有価証券の時価評価が増加したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ21億5百万円増加の277億34百万円となりました。この主な要因は、短期借入金と1年内返済予定の長期借入金が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ20億52百万円増加の169億27百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億1百万円増加の418億28百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.8ポイント低下の48.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月7日に公表しました2026年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,511	10,459
受取手形及び売掛金	18,636	17,803
商品及び製品	10,913	10,896
仕掛品	3,667	3,881
原材料及び貯蔵品	6,106	6,307
その他	945	1,429
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	45,773	50,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,841	9,661
機械装置及び運搬具（純額）	8,821	9,025
その他（純額）	9,627	9,048
有形固定資産合計	28,291	27,735
無形固定資産		
のれん	296	260
その他	647	695
無形固定資産合計	943	955
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,498	7,106
貸倒引当金	△75	△80
投資その他の資産合計	6,423	7,026
固定資産合計	35,658	35,718
資産合計	81,432	86,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,951	7,428
短期借入金	5,072	6,571
1年内返済予定の長期借入金	6,002	6,607
未払法人税等	357	95
賞与引当金	1,040	650
その他	5,203	6,380
流動負債合計	25,629	27,734
固定負債		
長期借入金	11,793	13,971
役員退職慰労引当金	171	178
退職給付に係る負債	574	587
資産除去債務	329	364
その他	2,006	1,826
固定負債合計	14,875	16,927
負債合計	40,504	44,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,351	10,351
利益剰余金	16,723	16,192
自己株式	△177	△156
株主資本合計	34,308	33,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,073	1,525
為替換算調整勘定	5,453	6,456
その他の包括利益累計額合計	6,526	7,982
非支配株主持分	91	47
純資産合計	40,927	41,828
負債純資産合計	81,432	86,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	52,635	48,975
売上原価	40,527	37,744
売上総利益	12,108	11,231
販売費及び一般管理費	11,288	11,042
営業利益	819	189
営業外収益		
受取利息	9	19
受取配当金	60	96
持分法による投資利益	117	173
その他	114	115
営業外収益合計	302	404
営業外費用		
支払利息	249	284
為替差損	156	0
その他	85	33
営業外費用合計	490	318
経常利益	632	275
特別利益		
固定資産売却益	2	9
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	2	9
特別損失		
固定資産売却損	0	4
固定資産廃棄損	24	25
特別損失合計	24	29
税金等調整前四半期純利益	609	254
法人税、住民税及び事業税	456	369
法人税等調整額	△19	34
法人税等合計	436	404
四半期純利益又は四半期純損失(△)	173	△149
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△36	△45
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	209	△104

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	173	△149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128	452
為替換算調整勘定	762	1,003
その他の包括利益合計	890	1,455
四半期包括利益	1,064	1,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,100	1,350
非支配株主に係る四半期包括利益	△36	△44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガポール (注) 1	中国	フィリピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	32,256	11,573	1,749	17	3,327	48,924	3,711	52,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,686	8,188	1,418	2,836	0	15,129	—	15,129
計	34,942	19,762	3,167	2,853	3,328	64,054	3,711	67,765
セグメント利益又は損失 (△)	1,150	△255	△7	△277	338	948	△272	676

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	948
「その他」の区分の利益又は損失 (△)	△272
セグメント間取引消去	△191
持分法投資利益又は損失 (△)	117
その他の調整額	29
四半期連結損益計算書の経常利益	632

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	31,711	8,382	1,522	51	2,977	44,644	4,331	48,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,262	8,678	1,538	2,485	0	14,965	—	14,965
計	33,973	17,061	3,060	2,536	2,977	59,610	4,331	63,941
セグメント利益又は損失 (△)	599	△116	127	△537	345	418	△192	225

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	418
「その他」の区分の利益又は損失 (△)	△192
セグメント間取引消去	△116
持分法投資利益又は損失 (△)	177
その他の調整額	△11
四半期連結損益計算書の経常利益	275

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,898百万円	2,813百万円
のれんの償却額	27	31